

日 時	令和8年8月31日（月）～9月3日（木）の3日間
学校名/機関名	大田原市立若草中学校
対 象	3年生（114名）
講 師	奥澤 健二 氏（奥澤産業株式会社 代表取締役社長）：8月31日（月） 川口 篤史 氏（株式会社川口鉄筋建設 取締役会長）：9月2日（水） 橋本 恵美 氏（栃木小松フォークリフト株式会社 代表取締役会長）：9月3日（木）
内 容	中学3年生の生徒の皆さんが将来について考えるきっかけとなるよう、3日間にわたり総合的な学習の時間に講話を行いました。 講話では、主に働くことの意義と、中学生のうちから身に付けておくことが望ましいことについて話しました。まず、働くことの本質は人の役に立つことであると伝え、相手に満足してもらうために仕事をする姿勢が大切であるという視点を示しました。次に、中学生が今からできることとして、安心できる環境（コンフォートゾーン）を一步出て挑戦すること、そして夢や目標から逆算して多くを学ぶことの重要性を話しました。さらに、好きなことや得意なことを見つけ、それを貫くことが将来必ず役に立つと付け加えました。 最後には、講師から生徒の皆さんに「周りの人に気遣いのできる人になりましょう。」「今を真剣に生きましょう。」「人はなりたい自分になれる。夢をもって生きていきましょう。」といったメッセージが送られ、生徒の皆さんが進路や将来を考える上で、大きな学びとなる講話となりました。



